

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	建築住宅課(市営住宅担当)		
事務事業名	市営住宅維持管理事業	事業番号	10223
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6 住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市営住宅入居者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	各市営住宅の老朽化に対処するため、建物の修繕及び延命化を図るための工事により整備された住環境の維持管理を行う。	
意図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	市営住宅の延命化に伴う住環境の整備により、市内への定住及び快適な居住生活を提供する。	

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 根室市公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅改修工事の進捗率	39.0%	36.6%	41.6%	46.6%	55.5%	59.3%	57.0%	100.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				108,450		104,705		75,775
内訳	国道支出金			27,760		31,428		16,522
	地方債			30,500		28,900		24,600
	その他			4,678		358		360
	一般財源			45,512		44,019		34,293
人員(人工)				3.00		3.00		3.00
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				23,112		23,112		23,112
総事業費(=事業費+職員人件費)				131,562		127,817		98,887
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				2,219		2,155		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	改善の時期が遅れている団地もあるが、改修の前倒しにより全棟終了した団地もあるので、計画は着実に進行している。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も計画的に事業を進めていきたい。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 老朽化の団地の整備は進んでおり、整備された住宅の快適性は向上している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 公営住宅法に基づいた事業であることから、基本的に市以外の取り組みは困難である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 入居者の家族構成や入居希望者の動向を考慮して、市民から求められている住宅の整備の在り方を検討することが必要とされる。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない -
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない -
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す) 可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある -

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和4年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和3年度】

主管課名(担当名)	建築住宅課(建築指導担当)		
事務事業名	市営住宅整備	事業番号	12801
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6 住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち

2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で提供
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	良質な居住環境の供給を図るため、ユニバーサルデザインの視点と環境、景観に配慮した市営住宅の整備を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	耐用年数を経過し、老朽化が著しい住宅の建替整備を推進し、良質で安全・安心な居住環境の供給が図られる。	

計画値を設定した年度を記載

3 事務事業の現状

活動指標名	計画値(H27)	実績値					目標値(R2)	目標値(R7)
		H29	H30	R1	R2	R3		
1 ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅の整備割合	20.0%	20.5%	20.7%	21.1%	21.3%	21.5%	22.0%	24.0%
2 ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅整備棟数・戸数	6棟・228戸	8棟・234戸	9棟・237戸	10棟・240戸	11棟・243戸	11棟・243戸	14棟・252戸	22棟・276戸
3								
4								
事業費(=下記内訳計)				R3予算		R3決算		R4予算
				16,250		13,665		73,803
内訳	国道支出金			5,976		6,178		32,695
	地方債			7,200		6,100		40,200
	その他							
	一般財源			3,074		1,387		908
人員(人工)				2.00		2.00		2.00
職員人件費(=人員(人工)×7,704千円)				15,408		15,408		15,408
総事業費(=事業費+職員人件費)				31,658		29,073		89,211
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				1,472		1,352		
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)				130		120		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	従前の既存住宅を解体し、建替える手法のみならず、良質なストック(既存住宅)を有効活用する手法を加え、建設コスト縮減を図りながら良質な住環境を提供する設計とした。
今後の動向・市民ニーズなど	建替事業の継続により、一定程度の入居待機者の解消が図られる。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	計画的な建替整備により耐用年数を経過した住宅の割合は減少している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 公営住宅法に基づいた事業であることから、基本的に市以外の取り組みは困難である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 住宅困窮者に対する低廉家賃住宅は一定程度必要であることから、その中でも経年劣化が著しい住宅の計画的な建替整備を推進しなければならないと考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 公営住宅整備基準の遵守が求められていることから、コスト縮減には限界があるが、既に戸当たり単価は北海道内でも低いものとなっている。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない -
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある -

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和4年6月